

人も生き物も、みんなが暮らしやすい街に

SDGsラジオを読んでみよう！

みなさんの住む街には緑はいっぱいありますか？
 都市や住まいの開発を行う会社「東急不動産」では、ビルの周りや屋上などに植物を植えて緑と緑をつないで、生き物たちのすみかを守り、生き物たちが自由に行き来できる中継地点をつくる取り組みを行っています。

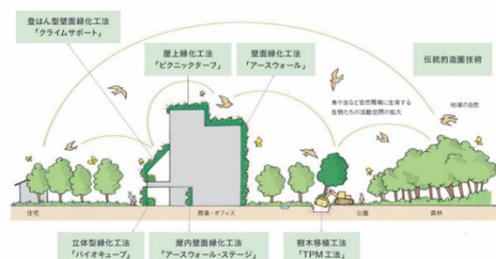
この緑のつながりを「エコロジカルネットワーク」と呼び、その活動のひとつとして現在、東京都渋谷区にあるショッピングセンター「東急プラザ表参道オモカド」の屋上に、「シジュウカラ」という小鳥の巣箱を設置する、「シジュウカラ邸宅プロジェクト」を進めています。

シジュウカラの巣箱は、ワンルームやメゾネットなどいろんなタイプがあり、

2024年には久しぶりにシジュウカラの巣作りが見られました。
 人と生き物が一緒に生きていくためには、自然を思いやることが大切です。

みなさんもまずは周りの自然に目を向けてみましょう。

SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう！



画像参照：エコロジカルネットワークの図
 (東急不動産ホールディングスHPより)



画像参照：巣箱をすみかにするシジュウカラの様子

都市や住まいの開発を行う会社「東急不動産」は、「エコロジカルネットワーク」という、緑と緑をつなぐネットワークをつくっています。これは、鳥や昆虫といった私たちの周りにはいる生き物たちのすみかを守り、組みのひとつで、ビルの周りや屋上、壁などに植物を植えることで、生き物たちが自由に行き来できる「緑の中継地点」が完成します。また、その地域の生態系を守るために、植える植物には地域にすむ生き物たちが過ごしやすいものを選ぶなど、さまざまな工夫をしています。

この取り組みのひとつとして東急不動産は、東京都の渋谷区にあるショッピングセンター「東急プラザ表参道オモカド」の屋上にある「おもはらの森」に、「シジュウカラ」という小鳥の巣箱を設置する「シジュウカラ邸宅プロジェクト」を進めています。巣箱にはワンルームタイプやファミリータイプなどがあり、シジュウカラが暮らしやすいように工夫されています。2012年のプロジェクトスタートから毎年新たな巣箱を設け、2024年には久しぶりにシジュウカラの巣作りが見られました。人と生き物が一緒に生きていくためには、自然を思いやることが大切です。東急不動産では今後もさまざまな視点からエコロジカルネットワークを広げ、人にとっても、生き物にとっても暮らしやすい街をつくっていきます。

キーワード

生態系

動物や植物、微生物と一緒に暮らし、互いに影響し合う自然の集まりを「生態系」といいます。生態系は、環境や気候によって異なり、すべての生物がバランスを保ちながら共存しています。

東急プラザ表参道オモカド

東京都渋谷区にあるショッピングセンターで、洋服のお店や飲食店がたくさんあります。表参道に位置し、買い物に訪れる人から人気のスポットです。

シジュウカラ

日本全国に生息する小型の野鳥で、主に森林や公園、庭などで見られます。体長は約14cmで黒い頭と白いほっぺたが特徴的です。

対象ゴール



みなさんにできること！

周りの自然に目を向けて、人と生き物がどうすれば仲良く暮らせるか、考えてみましょう。

おさらい

- 東急不動産は、「エコロジカルネットワーク」をつくる取り組みを行っている。
- エコロジカルネットワークをつくることで、生き物たちが守られる。
- 東急不動産はエコロジカルネットワークをつくる取り組みのひとつとして、ショッピングセンターの屋上にシジュウカラの巣箱を設置している。

メモ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

